

広告

企画・制作/読売新聞中部支社広告部

安全な街づくりと建設業の役割

東日本大震災での復旧、緊急支援活動

東日本大震災発生から半年余りが経過しました。先の台風12号の集中豪雨では三重県をはじめ広範囲にわたる被害がもたらされました。大規模災害の備えは大丈夫でしょうか。

そこで東日本大震災で復旧、緊急支援した「愛知県建設業協会の山田厚志副会長、中部建設協会の中島一好参事、社会基盤計画、防災計画などが専門の名古屋工業大学大学院、山本幸司教授に復旧支援の現状と課題、防災体制のあり方について話を伺いました。

24時間体制で排水処理

東日本大震災での復旧、緊急支援活動はいかでしたか。

山田 まず東日本大震災、当地では台風12号で甚大な被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。中部地方整備局の防災協定に基づき、第1陣は震災発生一週間後の3月18日から現地入りしました。5月21日までの65日間、33社から113人が現地に入り、中部地方整備局の高性能な排水ポンプ車、照明装置を使い、24時間体制で救済作業に当たりました。



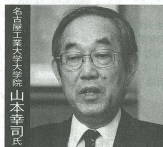
愛知県建設業協会副会長 山田厚志氏

山田 阪神大震災は、震度6の余震時にもきちんと避難するなど、課題や問題点をどうしてよいか。

山田 阪神大震災などの教訓から携帯電話すら通じない状況下では、防災通信網の整備を進めなければなりません。洪水対策も予測を上回る形の備え、訓練が必要になります。また、被災という考え方を立て、業界としてどんな貢献ができるのか。行政と業界が一体となって考えたいと思っています。

通信網の確保、耐水対策が急務

山田 阪神大震災などの教訓から携帯電話すら通じない状況下では、防災通信網の整備を進めなければなりません。洪水対策も予測を上回る形の備え、訓練が必要になります。また、被災という考え方を立て、業界として



全日本建設業協会 山本幸司氏

元気な建設業が防災力をアップさせます

山田 大規模災害に備え、その他の取り組み、懸念材料はありますか。

山田 名古屋では災害発生時に、地元業者が市から道路の確保をしています。

山田 名古屋では災害発生時に、地元業者が市から道路の確保をしています。

山田 名古屋では災害発生時に、地元業者が市から道路の確保をしています。

山田 名古屋では災害発生時に、地元業者が市から道路の確保をしています。

山田 名古屋では災害発生時に、地元業者が市から道路の確保をしています。

山田 名古屋では災害発生時に、地元業者が市から道路の確保をしています。

訓練の成果を確信しました。現地の皆さんはもとより、福島県相馬市長さんからもお言葉をいただきました。中島 3月23日から2人ずつ班、延べ68人が現地に入りました。余震による堤防の被害拡大、新規被災調査、緊急追加対応手法が正かどうかの検証を実施。被災調査、状況写真を整備。現地の出所するなど提出しました。これらの活動に対して東北整備局長から感謝状もいただいています。

山本 阪神、淡路大震災に比べ、今回は震補強や耐震構造をよってハド面の被害は比較的少なかつたものの、津波の被害が甚しく、ハド面の整備はまだまだ、国民のモセサス得るは限度あります。その制



中津川建設会 中島一好氏

災害訓練でプロの技磨く

東海地方での防災体制、災害時の緊急支援、復旧対応はどのようにしていくのか。

山田 中部地方整備局、河川事務所と一緒に定期的に水防訓練を行っています。地元の方も、1000人規模の訓練を、その経験が災害復旧のプロとしてのスキルになっています。

山本 社会インフラの新規整備は難しい状況の中、現拠、地域の防災力を高めるといふ観点から、日頃の訓練が重要です。今回、戸惑うこともなく作業をこなす、行政と一緒に進めてきた訓練の成果です。

山田 名古屋駅周辺では大規模な帰宅難民問題が予想されます。名古屋はホームレスで徒歩帰宅支援マップを掲載していますが、いざという時に検索できるのか、役にたつのかどうか。鉄道、商業施設が混在しているため、心配です。行政の努力は評価しますが、大災害に備えるという観点からは、ライフラインだけでなく、災害に対する代替の避難経路、避難場所など、二次、三次の対策、検討が必要はないでしょうか。



山田 阪神大震災などの教訓から携帯電話すら通じない状況下では、防災通信網の整備を進めなければなりません。洪水対策も予測を上回る形の備え、訓練が必要になります。また、被災という考え方を立て、業界として

(社)愛知県建設業協会
名古屋市中区栄3-28-21

(社)中部建設協会
名古屋市内丸の内3-5-10